

中学校における消費者教育の実施状況アンケート実施結果

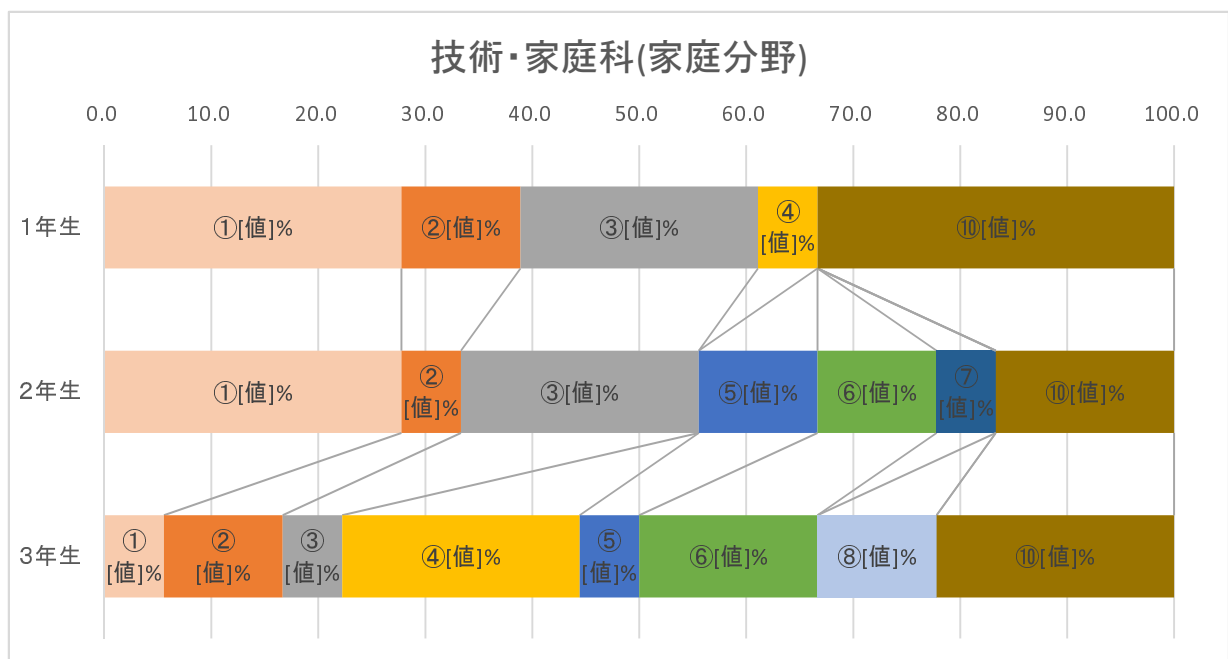
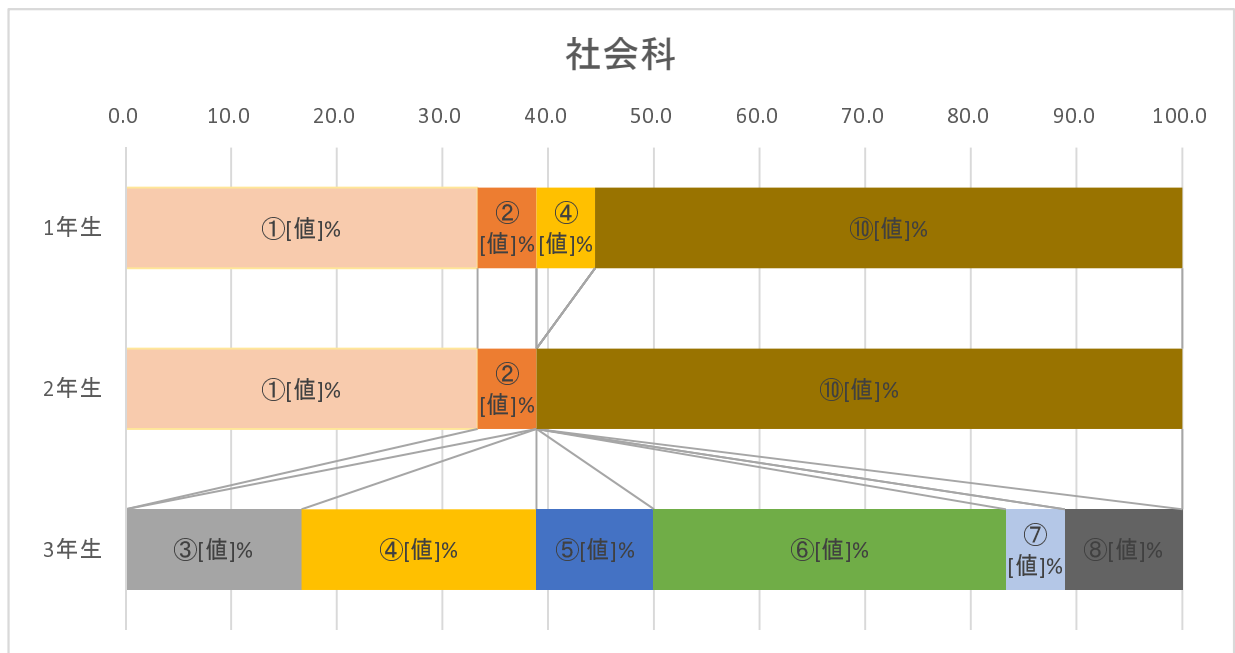
調査の目的: 第2次長野県消費生活基本計画の策定に向けた資料とするため、中学校における消費者教育の実施状況等を把握する。

調査対象者: 県教育委員会が抽出した県内の18中学校

調査期間 : 平成29年8月

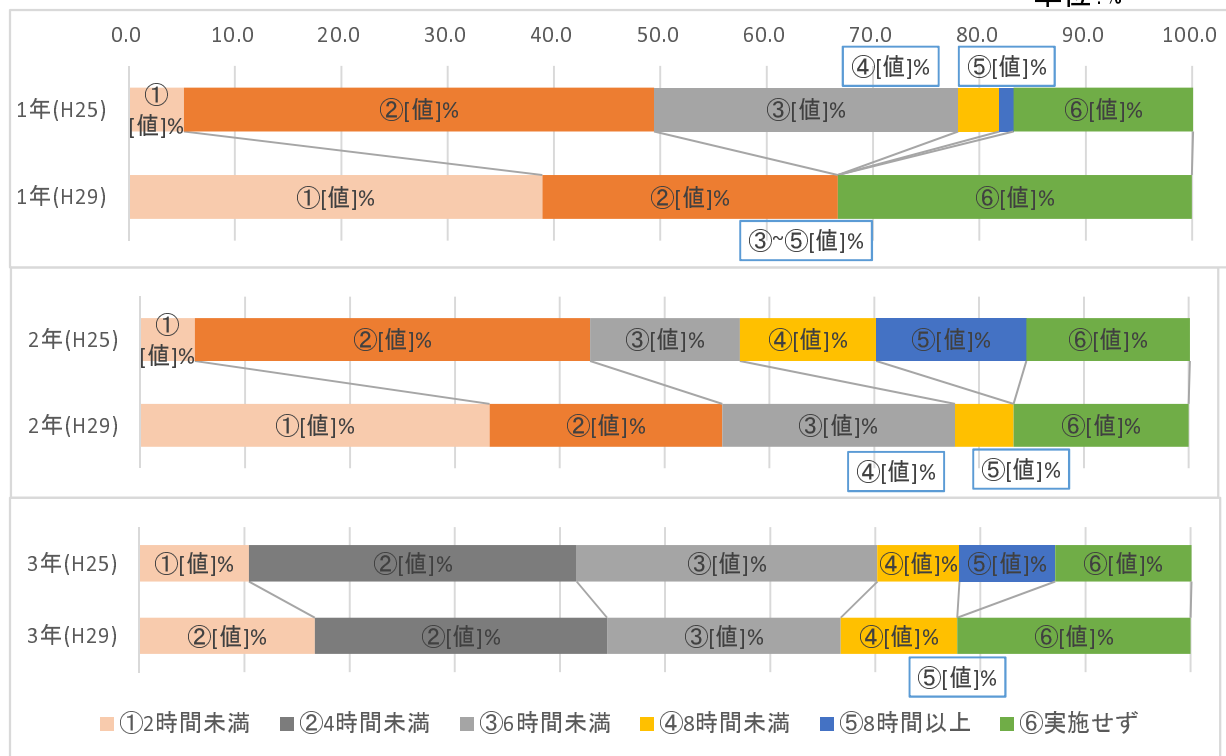
1 消費者教育実施時間の状況(1年生～3年生)

- (凡例)
- ①: 1時間未満
 - ⑥: 5時間以上6時間未満
 - ②: 1時間以上2時間未満
 - ⑦: 6時間以上7時間未満
 - ③: 2時間以上3時間未満
 - ⑧: 7時間以上8時間未満
 - ④: 3時間以上4時間未満
 - ⑨: 8時間以上
 - ⑤: 4時間以上5時間未満
 - ⑩: 実施していない

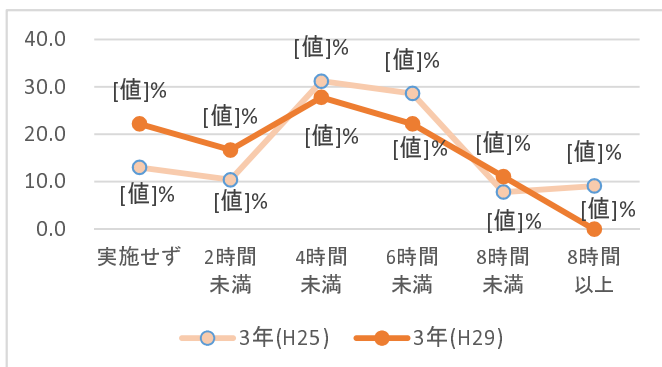
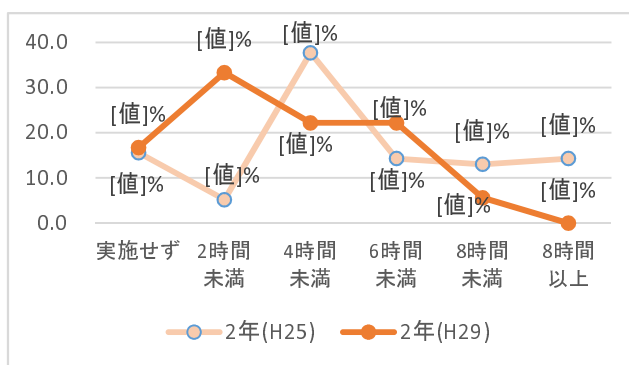
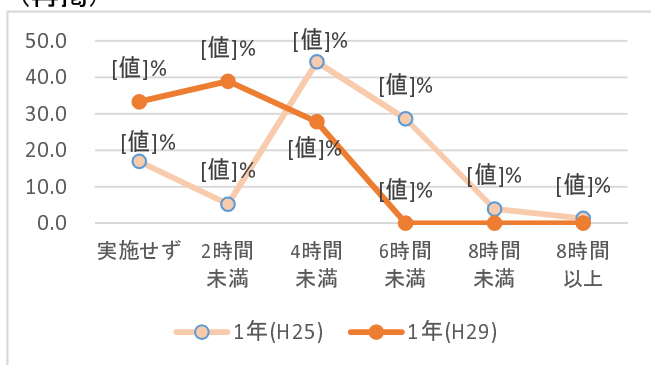


1-2 技術・家庭科(家庭分野)における消費者教育実施時間の状況(1年生～3年生、H25比較)

単位:%

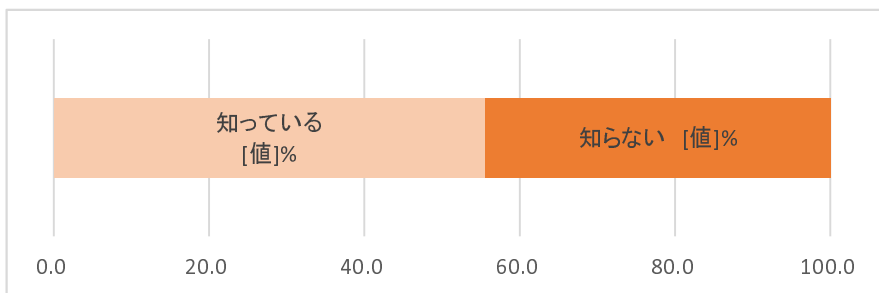


(再掲)

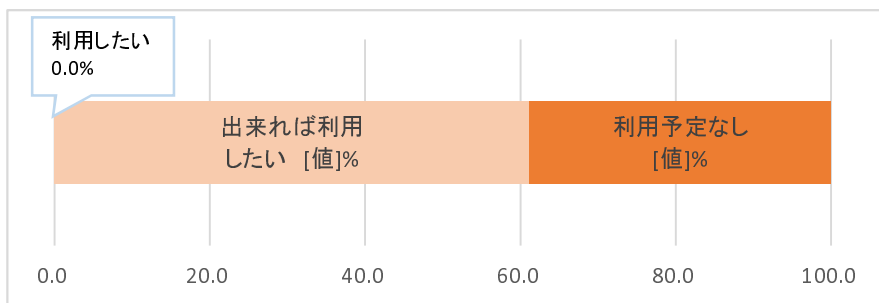


・平成25年調査と比較すると、1年生～3年生ともに実施時間は短くなる傾向がある。

3 消費者教育推進講師派遣制度の認知状況

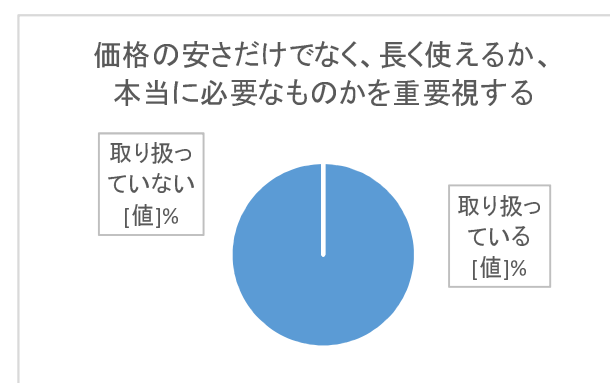
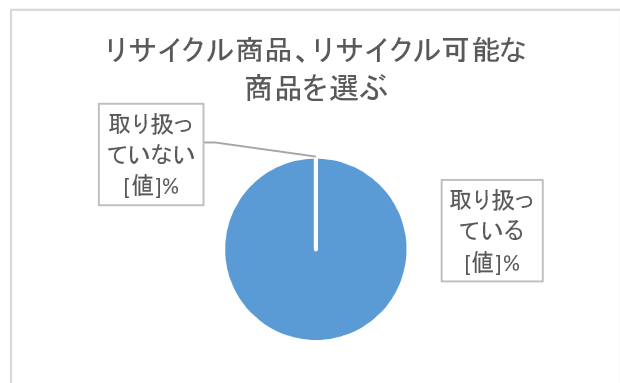
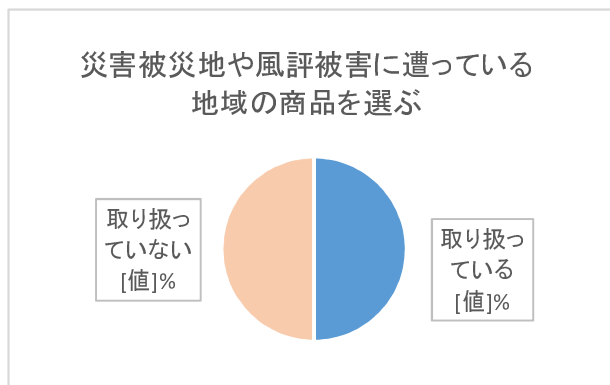
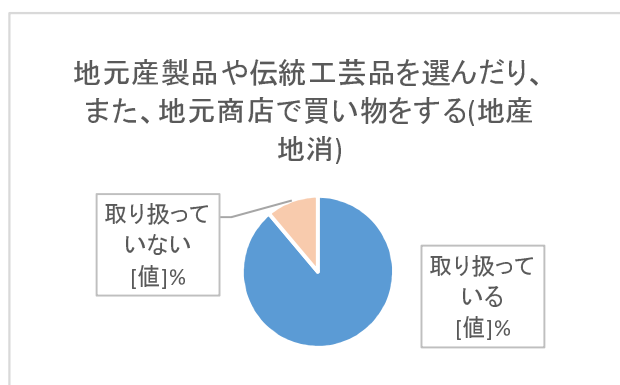


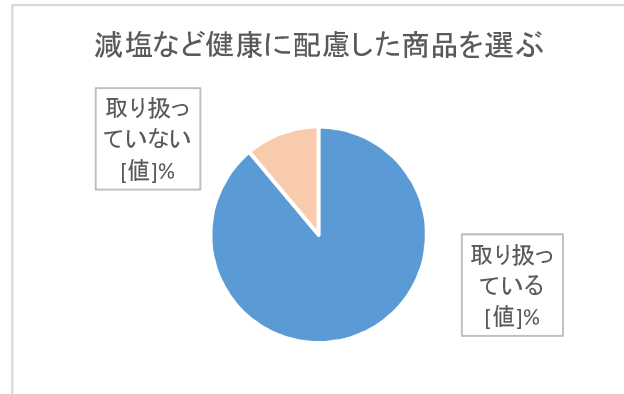
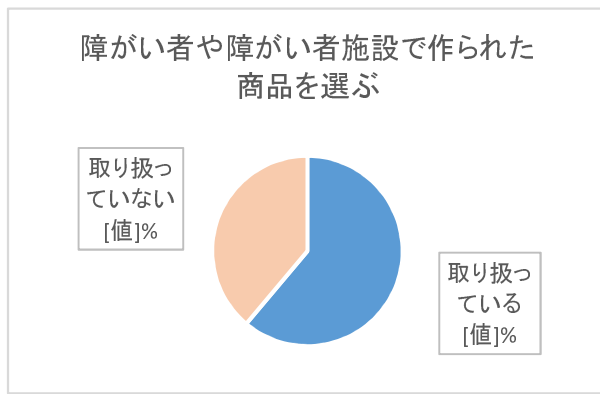
4 消費者教育推進講師派遣の利用希望状況



・認知度は約55%だが、利用したいと回答した学校はなかった。

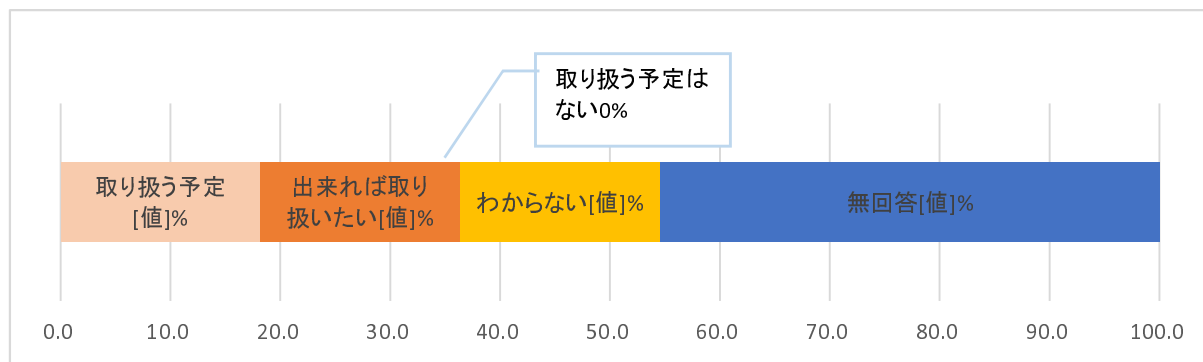
5 エシカル消費に関する消費者教育での取り扱いについて





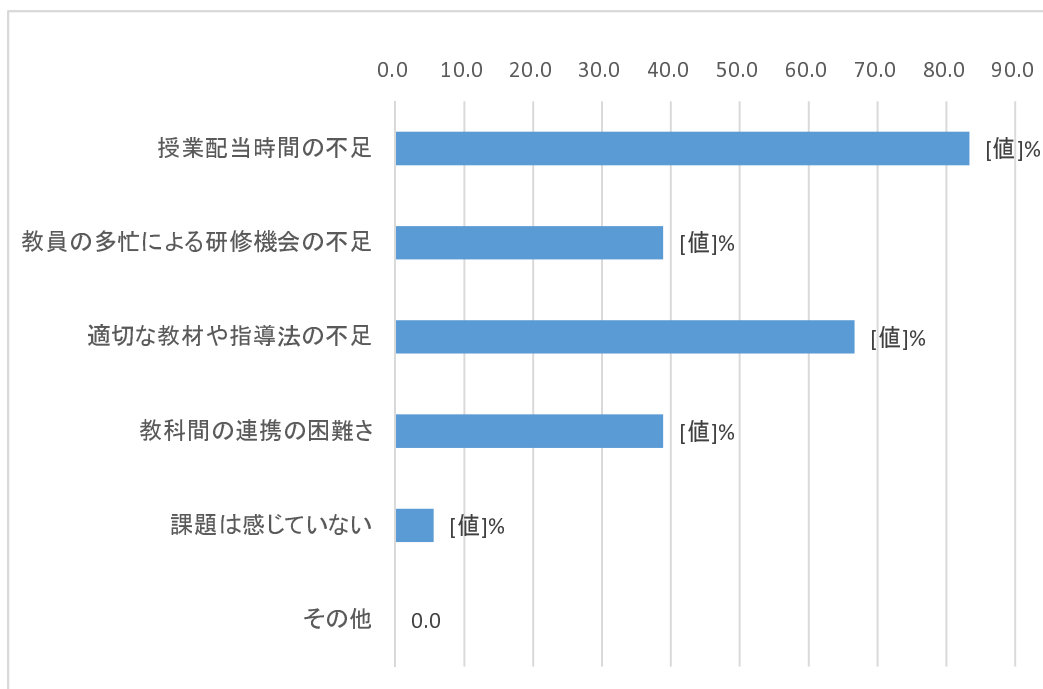
・いずれの項目も半数以上の学校で取り扱っている。

6 今後のエシカル消費に関する消費者教育での取り扱いについて



・回答のあった学校のうち、3分の1が今後取り扱う予定としている。

7 消費者教育を実施するうえでの課題



- ・授業配当時間の不足をあげる学校が80%以上に達した。
- ・次いで、教材や指導法の不足をあげる学校が3分の2にのぼった。